

感染症内科

部長 石田 正之

診療体制

今年の診療体制は昨年に引き続き、常勤1名体制で診療を行っている。業務内容としては、これまでと変わりなく、個々の感染症診療だけでなく、病院内の感染対策（Infection control team：ICT）、薬剤耐性菌抑制のための抗菌薬適正使用チーム（Antimicrobial Stewardship Team：AST）活動も担っている。

診療の実際

高知県内では感染症専門医・指導医がいる数少ない施設の一つとして、また感染症学会認定教育施設として感染症診療の原則に則った、診療の提供を心掛けている。

実際の業務としては、入院に関しては感染症の疑い症例、すでに感染症の診断がなされているが、治療経過が思わしくない難治症例、不明熱症例などに対してのコンサルトを中心に、主診療科と協働して治療にあたっている。また血液培養陽性例など、重度の高い疾患に関しては、コンサルトの有無にかかわらず、感染症の検知の時点から診療介入を行っている。実際昨年はのべ768症例に介入した。外来では不明熱や難治性感染症の紹介、梅毒などの性行為感染症の診療、感染症渡航関連感染症が疑われる症例を中心に診療を行っている。2021年開設した海外渡航・ワクチン外来については、2025年は新規受診者127名（のべ224名）の方に利用をいただいた。診療内容の詳細は表1,2に提示しているので参照頂きたい。

引き続き感染対策委員会やICTチームとの協力を通じて、院内感染対策にも力を注いでいます。ASTも活動も行い、年々その対応件数は増加をしている（2025年は、のべ1714例の症例に診療の介入を行った：図1,2）。昨年から行っている感染症を専門とする医療従事者がいない施設に対しても、電話やWebを用いた相談に応じる、もしくは実際に現場に出向いて、現場の職員を直接教育しながら、感染対策の従事を図る、専門医療従事者の派遣活動も継続しており、昨年は8例の相談対応を行った。

SARS-CoV-2感染症に関しては、その感染力に変化はなく、病院内では、常に二次感染の可能性など引き続き注意を要する。院内外を問わず、疑い患者の診断、陽性者の診療、感染予防対策に関しての対応に従事している。

以前より感染症の治療だけでなく予防にも力を入れており、その一環として、増加の一途をたどっている肺炎において、最も多い原因である肺炎球菌に対してのワクチン接種に関して、積極的に推奨を行っている。前述のように今ワクチン外来の開設により、より多くのワクチン接種に対応可能な環境を整備・強化をしている。

表1：渡航・ワクチン外来受診者の内訳

新規受診者	127
うち渡航関連の新患	49
留学など学業関連	16
仕事	17
ボランティア活動など	1
観光	13
その他	4

表2：渡航関連受診者の内訳

受診目的（重複あり）	
ワクチン接種	118
診断書作成	16
健康診断	11
感染症関連検査	8
予防内服（マラリア）	4
予防内服（高山病）	3
健康相談	4
渡航後相談	0
その他	2

図 1： AST への相談（コンサルト）件数および AST からの提案（コンサルト前介入）件数の年次推移

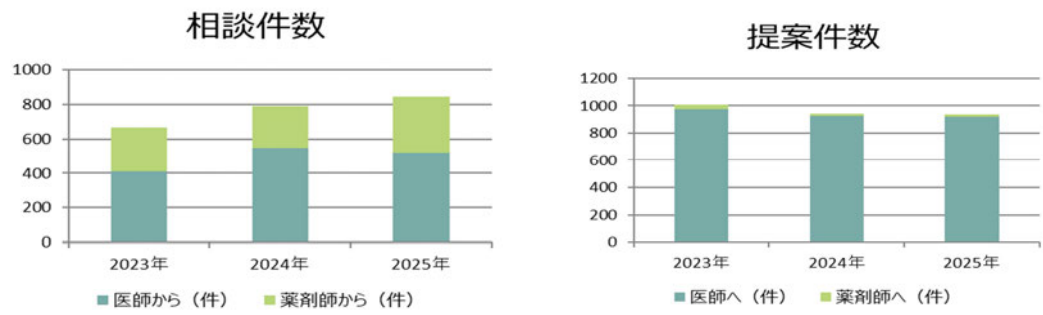
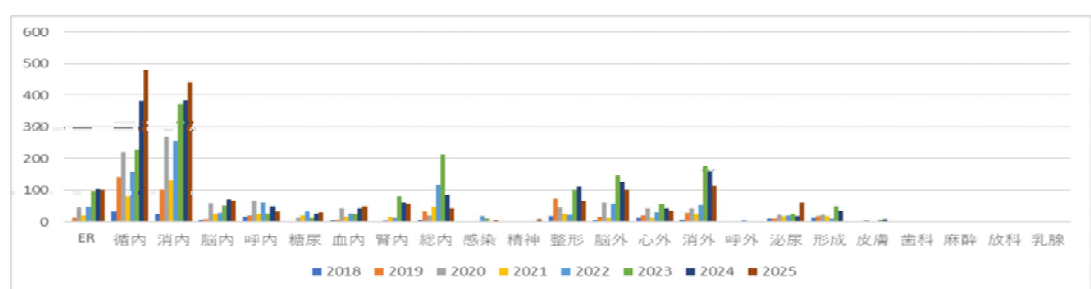


図 2：診療科別 AST 相談件数の年次推移



教育・研究

感染症診療に必要な不可欠な細菌検査技師、薬剤師とは定期的に、レクチャーや症例検討を行い、お互いの質の向上に努め、引き続き各種資格の取得のための研鑽を積んでいる。

昨今国際的な問題・課題となっている薬剤耐性（AMR）菌に関して、昨年高知県県下の医療従事者を対象とした感染症講座は、好評のなか1年間のプログラムを終了しましたが、多くの要望を得て、本年は、昨年の受講者を対象にフォローアップ研修という形で継続し引き続き院内のみならず、県全体での感染症診療レベルの向上に努めている。

さらに本年は AMR 問題の普及をさらに一方薄める形で、一般の方にも教育・啓蒙の必要性を考え、県と共同で県民公開講座医の開催も行った。今後も継続的に普及活動を行っていく予定としている。

また学術的な展開としては、引き続き厚労省「成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの構築に関する研究」の研究班に属し、重症感染症の共同研究を継続している。国立感染症研究所と長崎大学との共同研究が行っている、日本人の新型コロナウイルスワクチンの有効性を明らかにする大規模疫学研究（VERSUS）も継続中で、昨年からは新型コロナウイルスワクチンだけでなく、対象を呼吸器感染症ウイルスに対するワクチンに広げその有効性を検証する研究（VERSUS--2）も開始した。一昨年から開始された、日本の入院を要する呼吸器感染症の大規模疫学研究（APSG-J-2）にも継続中である。

課題

メディカルスタッフの知識、能力は着実に向上し、現場の感染症診療チームとしての活動は着実に広がりを見せているが、ニーズに対して人員の不足から十分に対応を仕切れていないのが現状である。引き続き人材の育成、確保を行っていく。

学術発表・講演会等

学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
----	--------------	-----	----

急性膿胸症例における胸水培養採取に際し、血液培養ボトル検体の培養併用の有用性の検討	石田 正之 藤原 絵理、中岡 大士	第 65 回日本呼吸器学会総会	4 月 11 日～13 日 東京
・成人市中発症肺炎症例での喀痰検体を用いた multiplex-PCR にて RS ウイルス(RSV)が検出された症例の検討	石田 正之 中岡 大士、森本 浩之輔	第 99 回感染症学会総会	5 月 8 日～10 日 横浜
同じマインドと方向性で感染症にアプローチをしていけるために 薬剤耐性(AMR)問題に強くなる感染症基礎講座 高知県での取り組み	石田 正之 荒川 悠、亀谷 佐和、前野 多希、吉田 さや佳、中野 克哉、島田 藍、筒井 由佳、近森 幹子、山岸 由佳	第 99 回感染症学会総会	5 月 8 日～10 日 横浜
市中発症急性膿胸での、Oral-type pleural infection 症例における臨床微生物学的検討	山中 莉子 森本 瞳、中岡 大士、石田 正之	第 99 回感染症学会総会	5 月 8 日～10 日 横浜
脳外科術後頭蓋内感染症に対して VCM の頭蓋内局所投与を行った 2 症例	高橋 佐和、石田 正之	第 99 回感染症学会総会	5 月 8 日～10 日 横浜
生シラスの喫食が感染の契機となったと考えられた、クジラ複殖門条虫症例の一例	山田真生 松田 莉奈、藤原 絵理、中岡 大士、石田 正之	高知県医師会医学会	8 月 16 日 高知
当院における Actinotignum schaalii 検出症例の臨床的検討	石田 正之、 松田 莉奈、中岡 大士	第 95 回感染症学会西日本地方会	11 月 28 日～30 日 福岡
診断までに 1 年 7 か月を要した、Mycobacterium marinum による手指軟部組織感染症の一例	大西 里実 松田 莉奈、中岡 大士、石田 正之	第 95 回感染症学会西日本地方会	11 月 28 日～30 日 福岡
当院での侵襲性肺炎球菌感染症症例の検討-10 年間の解析-	中川 陽貴 松田 莉奈、中岡 大士、石田 正之	第 95 回感染症学会西日本地方会	11 月 28 日～30 日 福岡
当院における Parvimonas micra 感染症症例の検討	松田 莉奈、 中岡 大士、石田 正之	第 95 回感染症学会西日本地方会	11 月 28 日～30 日 福岡

講演・座談会

演題	発表者 共同研究者	講演会名など	開催
今回のパンデミックを振り返り、今後の感染危機管理に必要なことを考える-重症患者受け入れ病院から-	石田正之	高知県医療措置協定締結医療機関向け感染症危機管理に関する研修会	2 月 1 日 高知
キノロン耐性大腸菌について	石田正之	第 296 回高知市医師会生涯教育カンファレンス	2 月 28 日 高知
当院の過去 10 年間の侵襲性肺炎球菌感染症症例の検討	石田正之 松田莉奈 藤原絵理 中岡大士	第 39 回高知県感染症研究会	7 月 17 日 高知
トラベルクリニックの視点からみたワクチンについて	石田正之	高知県ワクチンアップデートセミナー	7 月 28 日 高知
風邪に抗菌薬！必要ですか？	石田正之	高知県薬剤耐性（AMR）対策セミナー 県民公開講座	8 月 24 日 高知
成人肺炎球菌感染症における、ワクチンの位置づけ	石田正之	肺炎球菌ワクチンセミナー in 四国	11 月 19 日 WEB
高齢者の肺炎球菌感染症・肺炎予防におけるワクチンの意義	石田正之	肺炎球菌ワクチン WEB セミナー	12 月 10 日 WEB
実践—臨床医による肺炎球菌感染症予防の取り組み	石田正之	成人肺炎球菌感染症予防に関する座談会	5 月 17 日 東京

論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
Serotype distribution among adults with community-acquired pneumococcal pneumonia in Japan between 2019 and 2022: A multicenter observational study.	Maeda H, Ito I, Sando E, Hamao N, Shirata M, Dhoubhadel BG, Ntiamoah DO, Oi I, Nishioka K, Fujii H, Okamura K, Inoue T, Yamada T, Niibayashi S, Tsukino M, Fujii Y, Tsuchiya M, Nakahara Y, Hasegawa Y, Nakagawa A, Sugita T, Ito A, Sakai N, Kaji Y, Toyoda Y, Urata T, Asoh N, Nishiyama A, Yagiuchi A, Morikawa T, Ushiki A, Ishida M, Morimoto K.	Hum Vaccin Immunother.	Vol.20 No1 pp.2518847.
Efficacy of favipiravir treatment for patients with severe fever with thrombocytopenia syndrome assessed with a historical contro	historical control Masayuki Saijo, Koichi Izumikawa, Koichiro Suemori, Toru Takahashi, Kunihiro Umekita, Hiroki Ohge, Mariko Hatakenaka, Kenichi Ikeda, Daisuke Himeji, Atushi Yamanaka, Norimitsu Kadowaki, Masafumi Kawamura, Yasuyuki Kakihana, Takuo Ito, Kisato Nosaka, Tsutomu Sakurai, Tomoki Yoshikawa, Takeshi Kurosu, Masayuki Shimojima, Masaki Yasukawa	Antimicrob Agents Chemother	Vol.69 No12 pp.e106225